令和７年度外来種対策事業

報　告　書

概要版

令和８年３月

沖縄県　環境部　自然保護課

－ 目 次 －

1. 事業概要 1
2. 令和７年度の成果概要 2
2-1. 行動計画の進捗管理 2
2-2. 指針及び行動計画の見直し 4
2-3. 外来種リスト更新の検討・情報発信 5
2-4. 普及啓発 5
2-5. 外来種生息状況調査・防除等 7
2-6. WEB サイトの管理・運営及び情報発信 8

1. 業務概要

1-1. 業務名

令和７年度外来種対策事業

1-2. 業務目的

県内においては、既に様々な外来種が侵入し、一部定着が確認されている。それらの状況を踏まえ、令和元年度までに「沖縄県外来種対策指針」（以下「指針」という。）、「沖縄県対策外来種リスト」（以下「外来種リスト」という。）及び「沖縄県外来種対策行動計画」（以下「行動計画」という。）を策定し、本県の外来種対策を推進している。

本業務は、行動計画の進捗状況確認・見直しに向けた検討、外来種による生態系への影響に係る調査の実施、普及啓発等の実施等により、外来種対策を推進した。

1-3. 業務期間

令和７年４月１日～令和８年３月 31 日

1-4. 実施地域

業務実施地域は、沖縄県内である。

2. 今年度の成果概要

2-1. 行動計画の進捗管理

県庁関係各課（５部庁 15 課）へ書面ヒアリングを実施し、行動計画に係る取組内容について令和７年度の実施状況を整理した。各部の主な取組は以下のとおりであった。

【環境部】行動計画の全体項目について実施、パネル展、イベントの開催、ノイヌ・ノネコに関する各種啓発活動、庁内各課を通じて緑化関係者への外来種に関するチラシ配布、ネットワーク構築に向けた情報収集、各種防除事業におけるモニタリング調査・捕獲、外来種リストの更新検討、ヒアリ同定研修会の開催、哺乳類・鳥類・爬虫類・昆虫類で技術開発、各種防除事業等の実施

【保健医療介護部】犬の適正飼育に関する啓発（県立図書館での展示等)、ハブ防除対策講習会を実施

【農林水産部】産業管理外来種の適正飼養の啓発、有害鳥獣対策として、コウライキジ・インドクジャク・フイリマングースを捕獲、養蜂家向けの勉強会でのセイヨウミツバチの適正使用について説明・周知、新規飼養者向けへの説明マニュアルを関係機関へ周知

【土木建築部】適切な緑化に向けた啓発資料の配布協力、ヒアリ等外来種情報の事務所、市町村担当者との共有、港湾の関連機関との協議会への参加にて情報を収集

【教育庁】外来種教材の配布協力、生きものいっせい調査の協力

表 1　行動計画の実施状況（令和７年度）

行動計画	進捗管理項目	No	環境部	保健医療部	農林水産部	土木建築部	教育庁
(1)対策基盤の整備							
1)普及啓発							
①県民全般	イベントへの出展数	1	18回	1回 （犬の適正飼育）			
②学校等	資料・教材等の配布数	2	ノート配布（2453部）				資料の配布協力
③ペットショップ・園芸ショップ等	チラシ・ポスターの配布箇所数	3					
④農林水産業従事者	外来種に関する周知件数	4					
2)情報収集・情報発信							
①ネットワークの構築	ネットワーク参加団体数	5	情報収集				
②分布情報の把握	分布情報の収集・調査件数	6	16件				
③外来種リストの見直し	外来種リストの更新の有無	7					
④情報発信	プレスリリース数 ホームページの更新の有無	8	1件 有り				
3)人材育成・技術開発							
①人材育成	講習等の実施件数	9	3回	有り （ハブ講習会）			出前授業等の周知
②技術開発	新規防除技術の有無	10	有り				
(2)侵入の防止							
1)意図的外来種への対策							
①普及啓発	(1)1)及び2)	11	有り			資料の配布協力	
②産業管理外来種							
セイヨウオオマルハナバチ	3項目	12	2項目				
クロマルハナバチ	3項目	13	2項目				
セイヨウミツバチ	4項目	14	1項目		1項目 （普及啓発）		
③条例による規制	条例等の規制に関する検討の有無	15	実施無し				
2)非意図的外来種への対策	港湾・保税蔵置場周辺等におけるモニタリング調査の実施有無	16	有り （アリ類、セアカゴケグモ等）			有り （ヒアリ等）	
(3)防除の推進							
1)早期発見と初期防除（重点予防種）							
①早期発見・防除計画の整備							
カミツキガメ	3項目	18	2項目				
アルゼンチンアリ	3項目	19	3項目				
アカカミアリ	3項目	20	3項目				
コカミアリ	3項目	19	3項目				
ヒアリ	3項目	21	3項目				
セアカゴケグモ	3項目	22	3項目				
②関係者との連携による緊急防除	緊急防除体制検討の有無	23	有り				
2)戦略的な防除の実施（重点対策種）							
ノネコ（個別計画）							
フイリマングース（個別計画）					1項目 （駆除を実施）		
ニホンイタチ	4項目	25	4項目				
ノイヌ（個別計画）							
ニホンイノシシ（個別計画）					1項目 （駆除を実施）		
コウライキジ	8項目	27	4項目		1項目 （農業被害の低減）		
インドクジャク	8項目	28	4項目		1項目 （生態系影響低減）		
グリーンアノール	8項目	29	7項目				
タイワンスジオ	6項目	30	6項目				
タイワンハブ	6項目	31	6項目				
オオヒキガエル	4項目	32	3項目				
サイカブト	4項目	33	4項目				
ツルヒヨドリ	4項目	34	4項目				
アメリカハマグルマ	6項目	35	6項目				
ハヤトゲフシアリ	3項目	36	3項目				
ノヤギ	6項目	37	5項目				
ヤエヤママドボタル	5項目	38	4項目				
実施数			33	2	5	2	2

2-2. 指針及び行動計画の見直し

令和７年度の作業部会及び検討委員会において、今後改訂する行動計画・各種防除計画の見直しの方向性等について意見を聴取した。また、行動計画見直しにあわせて、その基本となる指針の見直しについても全体構成等について意見を聴取し、指針の改訂に向けた検討を行った。

沖縄県外来種対策指針

Ⅰ．指針策定の背景と目的

【指針の目的】
外来種による生態系等への影響を最小限に抑え、人の生命・身体、農林水産業への被害を防止し、沖縄県の生物多様性を保全するため、本県の特性と現状を踏まえた対策を総合的に推進する

Ⅱ．沖縄県の外来種問題の現状と課題

１．外来種問題の視点から見た沖縄県の特徴　　２．外来種の侵入・定着状況
３．外来種の影響　　４．外来種対策の実施状況

Ⅲ．沖縄県の外来種対策の将来像と対策の方針

１．県が掲げる将来像	本県への侵略的外来種の侵入が予防され、すでに定着している侵略的外来種については対策が実施され、外来種による生態系等への影響が最小限に抑えられ、人の生命・身体、農林水産業への被害が防止されるとともに、生物多様性が保全され、次世代へと継承される持続可能な環境が確保されている。
２.将来像実現に係る対応方針	(1)基本的な考え方 1)指針が対象とする外来種の範囲 ①国外からの外来種　②国内（他県）からの外来種、 ③国内（県内の別の島）からの外来種 (2)対策方法 1)対策の基本的な考え方 ①対策基盤の整備　②侵入の防止（予防）　③防除の推進 2)区分ごとの対策 ①防除対策外来種　②定着予防外来種　③産業管理外来種 3) 対策の効果の維持

Ⅳ．各主体の役割

１．行政の役割　　２．県民の役割　　３．企業の役割　　５．その他各主体等の役割

本指針では、沖縄県の生態系等に大きな影響を及ぼす可能性のある外来種を「侵略的外来種」と呼びます

2-3. 外来種リスト更新の検討・情報発信

【外来種の侵入状況についての情報収集】

沖縄県内への外来種の侵入状況等について、沖縄県外来種情報ネットワーク（研究機関、地域で活動する団体、行政機関等により構成）を活用した情報収集を行った。令和７年度新たに県内への侵入が確認された外来種は、昆虫類１種（アカアシナガキマワリ）及び植物１種（パキラ）の計２種であった。重点対策種・重点予防種・産業管理外来種の情報として、哺乳類６種、鳥類２種、爬虫類４種、両生類１種、クモ類・昆虫類９種、植物２種の計 24 種の情報が得られた。また、県外来種リスト掲載種以外で特に動向が懸念される 13 種（動物 11 種、植物２種）についての情報をまとめた。

表 2　県内で新たに確認された外来種一覧（令和７年度）

No.	分類群	種名	対策外来種リストのカテゴリー（更新案）	対策外来種リストのカテゴリー（当時）	侵入地	原産地	情報提供者	参考文献
1	昆虫類	アカアシナガキマワリ *Strongylium erythrocephalum*	区分外	-	沖縄島（那覇市）	台湾、中国、東南アジア、インド	佐々木健志	文献1
2	植物	パキラ *Pachira aquatica*	区分外	-	西表島	中南米	西表財団	文献2

文献1　Ando, K. (2022) Catalogue of Formosan Tenebrionidae (Insecta: Coleoptera). Supplementary Series No. 1. Elytra, New Series.

文献2　Royal Botanic Gardens, Kew. (n.d.) Pachira aquatica Aubl. Plants of the World Online. Available at: https://powo.science.kew.org/

【外来種リストの更新】

有識者等による意見を踏まえ、外来種リストの更新（案）を作成した。更新（案）では、外来種リストにおける重点対策種は現行の 17 種類から 16 種類となるほか、対策種は現行の 162 種類から 165 種類となり、リスト掲載種の総数は、399 種類から 401 種類となる。

表 3　外来種リスト更新前後の種類数一覧

分類群	防除対策外来種						定着予防外来種						産業管理外来種		種数合計
	重点対策種			対策種			重点予防種			予防種					
	現行	R7更新	更新後	現行	R7更新	更新後	現行	R7更新	更新後	現行	R7更新	更新後	現行	R7更新	
哺乳類	6	-	6	4	-	4	0	-	0	28	-	28	0	-	38
鳥類	2	-	2	3	-	3	0	-	0	13	-	13	0	-	18
爬虫類	3	-	3	9	-	9	1	**-1**	**0**	15	**+1**	**16**	0	-	28
両生類	1	-	1	5	-	5	0	-	0	12	-	12	0	-	18
魚類	0	-	0	21	**+1**	**22**	0	-	0	37	-	37	0	-	59
甲殻類	0	-	0	2	**+2**	**4**	0	-	0	15	**-1**	**14**	0	-	18
貝類	0	-	0	18	-	18	0	-	0	18	-	18	0	-	36
昆虫類	3	**-1**	**2**	7	-	7	4	**+1**	**5**	13	-	13	3	-	30
その他の節足動物	0	-	0	3	-	3	1	-	1	6	-	6	0	-	10
その他の動物	0	-	0	5	-	5	0	-	0	2	-	2	0	-	7
植物	2	-	2	85	-	85	0	-	0	52	-	52	0	-	139
合計	17	**-1**	**16**	162	**+3**	**165**	6	-	6	211	-	211	3	-	399 → **401**
	179 → **181**						217						3		

※ 赤字は、今回の変更内容を示す。

2-4. 普及啓発

【県民全般】

小中学生を対象とした自由研究イベントでブースの出展を行った。出展内容は、顕微鏡を用いたアリの観察や外来種の実物大パネルの展示等とした。また、啓発資料として、指針パンフ及びグッ

ズ（シール・ステッカー）等を配布した。

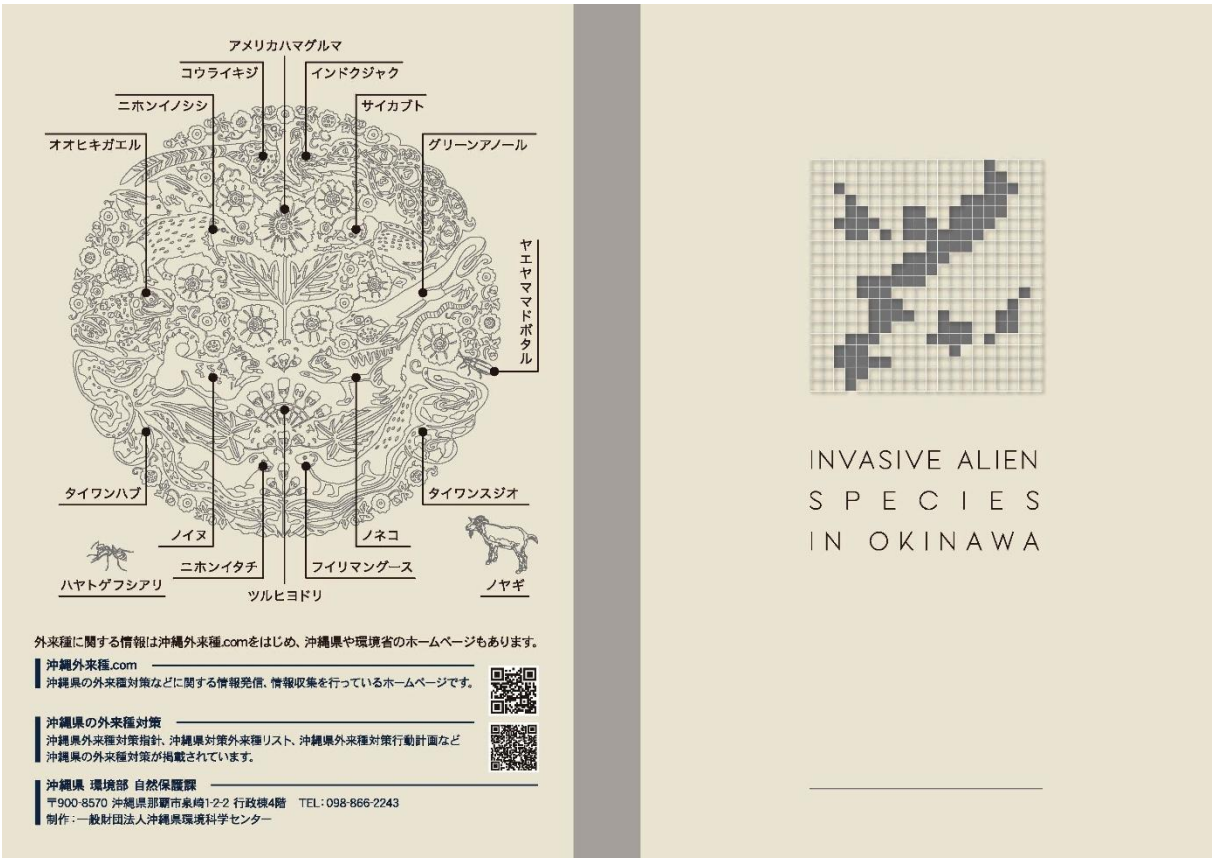
環境フェアへのブース出展を行った本外来種対策事業及びその他外来種対策事業（両生類・爬虫類対策、鳥類対策、植物対策、哺乳類対策）と連携しブース出展した。

利用できるスペースが狭い会場でも実施可能な展示ボックスを用いた啓発活動（ポスター掲示及び資料配布）を行った。令和７年度は離島を含む 12 会場で実施し、指針パンフ 980 部、中高生向け教材 954 部、シール 1,129 部、ステッカー1,052 部、ノート 1,203 部を配布した。

【学校等】

小学生向けに作成したノートにハヤトゲフシアリとノヤギを追加するとともに配色を変更したノートを作成した。小学生が多く参加した県民全般のイベントや図書館において配布した（再掲）。

中学生・高校生向けにも日常的に使用されるノートとして表紙等に外来種問題を周知するための内容を盛り込んだノート（B５サイズ、横罫線、左綴じ）のデザイン案を作成した。



ウラ表紙　　オモテ表紙

図 1　中学・高校生向けノートのデザイン案（B５、横罫線、左綴じ）

【ペットショップ等】

動物取扱業者が参加する動物取扱責任者研修時に（令和７年 10 月 29～30 日開催）、主催者の沖縄県動物愛護管理センターを通じて参加した約 520 箇所の事業所等に配布した。

2-5. 外来種生息状況調査・防除等

【島しょ別外来種生息状況調査】

外来生物法及び生態系被害防止外来種リストに掲載されている哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類を対象として、令和５～７年度の３か年間で沖縄県内の 65 島において外来種の生息状況調査を実施した。その結果、哺乳類は、県重点対策種６種を含む 11 種が記録され、そのうち６種が新たな島で確認された。特にノヤギは、前回現地調査時には確認されなかった６島で新たに確認された。鳥類は、県重点対策種２種を含む３種が記録され、そのうち１種が新たな島で確認された。爬虫類は、県重点対策種３種を含む 12 種が記録され、そのうち４種が新たな島で確認された。両生類は、県重点対策種１種を含む４種が記録されたが、新たな島での確認はなかった。

表 4　今回調査時に新たな島で確認された種一覧

No.	分類	種名	県リスト区分	調査方法	今回新たに確認された島	
					島数	島名
1	哺乳綱	ドブネズミ	対策種	文献調査	1	池間島
2		ノイヌ（イヌの野生化したもの）	重点対策種	現地調査	2	池間島、来間島
4		ノネコ（イエネコの野生化したもの）	重点対策種	現地調査	5	伊計島、宮城島(うるま)、渡名喜島、久米島、下地島
5		ニホンイノシシ（またはイノブタ、ブタ）	重点対策種	現地調査	2	屋嘉比島*、久場島*
				文献調査	1	南大東島
6		ニホンジカ	対策種	文献調査	1	沖縄島
7		ノヤギ（ヤギの野生化したもの）	重点対策種	現地調査	4	前島、嘉比島 波照間島、与那国島
				文献調査	2	沖縄島、南大東島
8	鳥綱	シロガシラ（八重山諸島以外）	対策種	現地調査	1	浜比嘉島
				文献調査	1	伊平屋島
9	爬虫綱	ヤエヤマイシガメ（石垣島、西表島、与那国島以外）(交雑種を含む)	対策種	文献調査	1	伊良部島
10		ミナミイシガメ（交雑種を含む）	対策種	現地調査	3	瀬底島、粟国島、北大東島
11		アカミミガメ	対策種	現地調査	1	宮城島(うるま)
12		スッポン類	対策種	現地調査	1	宮城島(うるま)

*痕跡のみの確認

【物流拠点等における外来種侵入状況調査】

令和４年度から、沖縄島・宮古諸島・石垣島の主要な港湾地区、空港、基地周辺、保税蔵置場等における外来種の侵入状況調査を実施している。令和７年度は、宮古諸島及び石垣島の港湾地域及び自衛隊基地周辺において調査を実施したところ、オオヒキガエル、サイカブト及びシロアゴガエルが確認された。

表 5　港湾・自衛隊基地における調査結果

島	区分	地区名	爬虫類				両生類	昆虫類	その他節足動物	特定外来生物		調査月	踏査距離（km）	実施年度
			重点対策種			重点予防種	重点対策種	重点対策種	重点予防種					
			グリーンアノール	タイワンスジオ	タイワンハブ	カミツキガメ	オオヒキガエル	サイカブト	セアカゴケグモ	ハイイロゴケグモ	シロアゴガエル			
沖縄島	重要港湾	那覇港	－	－	－	－	－	－	－	－	○	7	14.6	R4
		中城湾港	○	－	－	－	－	－	－	－	○	3,7	131.0	R4, R5
	地方港湾	金武湾港	－	－	－	－	－	－	－	－	○	6	20.3	R5
		運天港	－	－	○	－	－	－	－	－	○	9	6.3	R5
		本部港	－	－	－	－	－	－	－	－	○	6	7.8	R5
	空港周辺	那覇空港*	－	－	－	－	－	－	－	－	○	7	16.8	R4
	自衛隊基地周辺	陸上自衛隊那覇駐屯地*												
		勝連自衛隊駐屯地	－	－	－	－	－	－	－	－	○	7	1.3	R4
	米軍基地周辺	牧港補給地区	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7,8	6.9	R4
		ホワイトビーチ地区	－	－	－	－	－	－	－	－	○	7,8	3.0	R4
		キャンプ・シュワブ	－	－	－	－	－	－	－	－	○	7,8	4.0	R4
	保税蔵置場	糸満市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7,11	11.3	R6
		中城村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7	3.6	R6
		西原町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7	1.2	R6
		浦添市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7	4.1	R6
		うるま市	－	－	－	－	－	－	－	－	○	6	3.2	R5
			－	－	－	－	－	－	－	－	○	7,10	16.7	R6
		沖縄市	○	－	－	－	－	－	－	－	－	10	3.0	R6
宮古島	重要港湾	平良港	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6,8	17.4	R4, R5, R7
	空港周辺	宮古空港	－	－	－	－	－	－	－	－	○	6,8	5.1	R4, R5
	自衛隊基地周辺	航空自衛隊宮古島駐屯地	－	－	－	－	－	－	－	－	○	6,8,9	13.5	R4, R5, R7
		陸上自衛隊宮古島駐屯地	－	－	－	－	－	－	－	－	○	6,8,9	13.4	R4, R5, R7
		陸上自衛隊保良訓練所	－	－	－	－	－	○	－	－	○	9	14.7	R7
伊良部島	地方港湾	長山港	－	－	－	－	－	－	－	－	○	6,8	8.8	R4, R5
下地島	空港周辺	下地島空港	－	－	－	－	－	－	－	－	○	6	5.9	R5
石垣島	重要港湾	石垣港	－	－	－	－	○	－	－	○	－	2,6,9	81.8	R4, R5, R7
	空港周辺	石垣空港	－	－	－	－	○	○	－	－	○	6	6.9	R4
	自衛隊基地周辺	陸上自衛隊石垣駐屯地	－	－	－	－	○	－	－	－	○	6,7,9	4.0	R4, R5, R7
合計			2	0	1	0	3	2	0	1	19	－	426.6	－

*隣接した地区のため同一地区として調査

：令和7年度実施地域

2-6. WEB サイトの管理・運営及び情報発信

【外来種の情報発信・情報収集のための WEB サイトの運営】

「情報収集」、「外来種対策の教育普及及び広報」、「沖縄県の外来種データベース」の３つの機能を有するホームページ「沖縄外来種.com」を令和４年度から公開している。令和７年度は、トップページや Q&A 等の仕様を変更するとともに、サイト全体の操作性向上を図った。ホームページの投稿フォームより、３月までに重点対策種等に関する 276 件の目撃情報を得た。

表 6　沖縄外来種.com に寄せられた情報（令和７年４月～令和８年３月）

種	信頼度				総計	目撃地点	
	高	中	低	誤報		信頼度高・中	信頼度低・誤報
	写真や捕獲個体等の確認ができた情報	提供者が生物に詳しい等ほぼ確実な情報	不確定要素がある情報	明らかな誤報			
コウライキジ	0	0	1	0	1		読谷村
タイワンハブ	6	1	0	1	8	今帰仁村、名護市、うるま市	宜野座村
タイワンスジオ	6	1	3	0	10	名護市、うるま市、沖縄市	恩納村、うるま市、沖縄市
グリーンアノール	145	4	64	3	216	読谷村、沖縄市、宜野湾市～糸満市（与那原町を除く）	名護市、うるま市、浦添市～糸満市（西原町を除く）
オオヒキガエル	1	0	1	0	2	石垣市	石垣市
カミツキガメ	0	0	0	1	1		嘉手納町
ヤエヤママドボタル	25	1	7	0	33	本部町、恩納村、うるま市、糸満市～宜野湾市（那覇市、八重瀬町、与那原町を除く）	中城村、浦添市、南風原町、八重瀬町
アカカミアリ	0	0	0	3	3		宮古島市、名護市、読谷村
ツルヒヨドリ	0	0	1	0	1		北中城村
その他	0	0	1	0	1		今帰仁村
総計	183	7	78	8	276		

【沖縄外来種.com と連携した SNS による情報発信】

沖縄外来種.com と連携した県公式 SNS アカウントの開設に向け、目的やコンセプトを整理し、沖縄県ソーシャルメディア利用ガイドラインに基づく「沖縄県外来種対策事業ソーシャルメディアアカウント運用ポリシー（案)」をまとめ、投稿コンテンツ案を作成した。



図 2　県公式 Instagram リール案



図 3　県公式 Instagram フィード投稿案